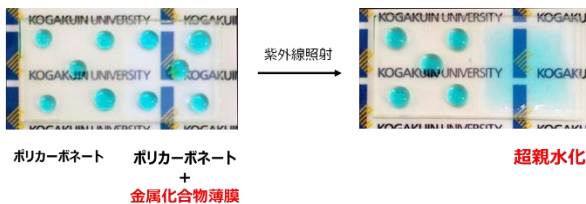
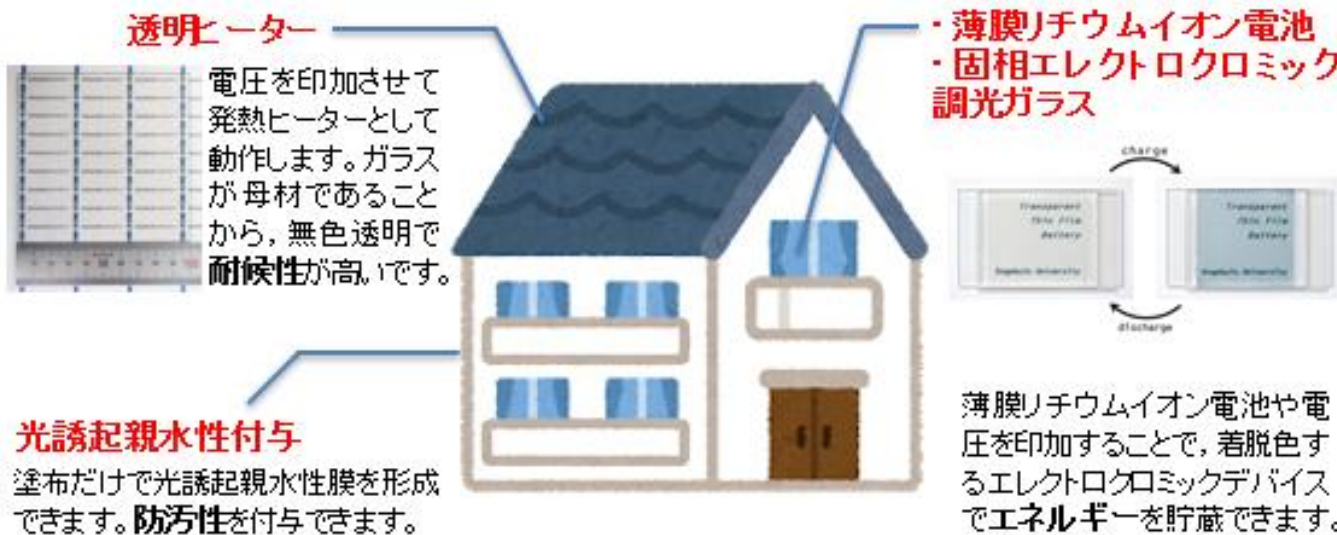


報道関係各位

2024年6月5日

工学院大学、わずか数百 nm の透明膜で蓄電・防汚・耐候する技術を公開

工学院大学(学長:今村 保忠、所在地:東京都新宿区/八王子市)の永井裕己 准教授(応用物理学科)は、省資源・省エネルギーを実現する高機能薄膜技術を応用して、蓄電機能を持つエレクトロクロミック調光ガラスや透明ヒーター、防汚性・耐候性に優れた光誘起親水化膜などを形成しました。6月12日から開催される第28回リフォーム&リニューアル建築再生展2024(主催:建築再生展組織委員会)において、最新成果を展示・実演します。



■ 主要な技術的特徴

- | | |
|---------|--|
| 透明ヒーター | 電圧を印加することで発熱する無色透明で耐候性の高いヒーターを実現。 |
| 光誘起親水性膜 | 常温で光誘起親水性膜の形成を達成。優れた防汚性、耐候性を示す。 |
| エネルギー貯蔵 | デバイスに、電圧印加で色が変わる材料を採用。たとえば色を青くすることで蓄電と遮熱が可能。 |

■ 開発者コメント: 永井裕己 准教授(応用物理学科)

工学院大学発の均一な薄膜を形成する溶液を用いて、多様な機能を持つ薄膜形成を試みています。紫外線照射で優れた防汚性、耐候性を示す薄膜形成などが可能で、既存の住宅にも施工可能です。住宅への実用に向けた課題を知るために、連携いただける企業さまを探しています。

■ 出展技術における特許情報など

名称 リチウムイオン二次電池
出願者 学校法人工学院大学
発明者 永井 裕己、佐藤 光史
出願番号 特許第 6687249 号
研究者紹介サイト <https://er-web.sc.kogakuin.ac.jp/Profiles/13/0001264/profile.html>

■ 第 28 回リフォーム & リニューアル建築再生展 2024 概要

第 28 回テーマ GX・DX 推進がひらく建築ストックの未来 -SDGs の達成に向けて-
日時 2024 年 6 月 12 日(水)-14 日(金) 10:00-17:00 ※最終日は 16:30 まで
会場 東京ビッグサイト 東 1 ホール 工学院大学出展ブースは小間番号【14】
入場料 1,000 円(招待券・事前申込者は無料)
公式サイト <https://rrshow.jp/2024/>

<お問い合わせ> 学校法人工学院大学 総合企画部 研究推進課、sangaku@sc.kogakuin.ac.jp